

2023年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
海外デザイン研修 3											
対象	3 年次	開講期	前・後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	山田 盛久 他			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
大学院の意匠・歴史研究室にて西洋建築史研究と横浜・鎌倉の歴史的建造物の実測調査・保存活動に携わる。その後、一級建築士事務所を設立し住宅設計・監理を経験。本校の非常勤講師を経て常勤教員として設計教育に従事。											
授業概要											
国内外の建築物について事前のリサーチ、勉強会を実施し、訪問先となる建築、街の歴史、風土等の状況を学習する。その上で、実際に現地の建築物を訪問することにより、より広い視野で今後の建築創作活動に向き合うことを目指す。またこれらの経験を元に、進路選択の判断基準にも活かす。授業最終回では、研修内容をまとめたレポートを作成し、成果発表を行う。											
到達目標											
①建築物の建設目的、設計主旨等、建物が成立するまでのプロセスをリサーチした上で、実際に現地に赴きその建築空間や建築材料、建築構造を観察することができる。②その土地の歴史、気候風土、法規等の与条件からなる建築物の成り立ちを理解することで、広い視野で建築の知見を深めることができる。③研修を通じ、仲間と積極的にコミュニケーションを取り、建築技術者としての倫理観、応用能力、チャレンジ精神等、建築を学ぶ人間としてバランスのとれた感性を持つことができる。											
授業方法											
建築デザイン研修は希望者のみの開講とする。2023年度は、夏休み、冬休み、春休み期間中の1日～7日間程度の開催予定とする。事前研修で各訪問先の建築、街の事前リサーチを行い、各自、見どころ等について予習を行う。訪問先により全員行動とグループ行動を行う。全員行動では引率教員、現地ガイドと共に行動し、主に観光バスで各地を訪問する。グループ行動では、引率教員、ガイドとは別行動とし班単位で行動する。											
成績評価方法											
提出物、授業態度、平常点、などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
この授業では、能動的な調査、及び行動を重視する。事前勉強会での積極的な授業での発言、リサーチが重要となる。事前勉強会、現地での見学を通じ、最終成果物として研修レポートの提出を求める。研修時においては、日本工学院の学生としての自覚を持ち、訪問先の街では、基本的なマナーを重んじ、常識的な行動を心がける。研修中は引率教員、旅行会社及び現地ガイドの指示に従い、規律のある行動が求められる。											
教科書教材											
教員からの参考資料、各自収集した資料等。											
回数	授業計画										
第1回	建築デザイン研修ガイダンス 研修の主旨、目的を理解する。										
第2回	事前学習① 訪問場所の地理、気候等の概要調査										
第3回	事前学習② 訪問建築の概要調査（1）										
第4回	事前学習② 訪問建築の概要調査（2）										
第5回	事前学習② 訪問建築の概要調査（3）										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
海外デザイン研修 3	
第6回	事前学習② 訪問建築の概要調査（4） □
第7回	事前学習② 訪問建築の概要調査（5）
第8回	研修1日目 建築見学・街歩き（1） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ
第9回	研修2日目 建築見学・街歩き（2） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ
第10回	研修3日目 建築見学・街歩き（3） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ
第11回	研修4日目 建築見学・街歩き（4） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ
第12回	研修5日目 建築見学・街歩き（5） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ
第13回	研修6日目 建築見学・街歩き（6） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ
第14回	研修7日目 建築見学・街歩き（7） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ
第15回	研修最終報告会